

平成29年度

事業計画書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益社団法人 全日本銃剣道連盟

# I. 基本方針及び重視事項

## 1. 基本方針

公益社団法人全日本銃剣道連盟（以下全銃剣連という）は、スポーツ基本法、武道憲章及び銃剣道修行の指標に則り、銃剣道・短剣道の普及振興を図る事業を行い、国民の体力向上と健全な人間形成に寄与する。

## 2. 重視事項

### (1) 会員数の増大

- ・目的：会員数の減少は全銃剣連存亡の危機である。会員増大を図り、会勢を維持増大する。
- ・会員数増大の3本柱（新規加入者獲得、会員の減勢防止、会員の掘り起こし）を推進する。
- ・新規加入者獲得：能動的かつきめ細かな獲得努力（出前研修会、出張昇段審査等）
  - 自衛隊における銃剣道・短剣道の実施奨励：特に基本教育への銃剣道導入を奨励する。
  - 青少年・女性への拡大努力を継続する。
- ・会員の減勢防止：中途退会者の防止、会員メリットの提供
  - 転属者の掌握と転属先における勧誘をきめ細かく実施
  - 称号・段位・審判員審査の受審を奨励
  - 地方大会の工夫：新人戦、高齢者部門の充実、基本の試合、形の試合を実施
  - 研修会・稽古会の工夫：合同研修会、合同稽古会、部隊への技術支援等の実施
  - 部隊等の銃剣道大会の激励
- ・会員の掘り起こし：元会員の再入会奨励
  - 銃剣道・短剣道修行への参入：稽古会・教室・道場への勧誘
  - 大会への参加：地方大会における高齢者部門の設置
  - 県連等活動等への参加・援助：県連役員等への起用、賛助会員への勧誘
- ・会員獲得上の留意事項：謙虚・節度・信頼、全銃剣連の現状認識を共有し協力
  - 会員所属先における銃剣道・短剣道の立場を理解し、謙虚に節度をもって信頼関係を構築する。
  - 武道銃剣道の目的、全銃剣連の現状についての認識を共有し、双方の目的達成のため協力しあう姿勢を醸成する。
  - 自衛隊における銃剣道の立場の変化に機敏に対応する。
- ・会員証導入準備：会員証導入の目的の確立、導入態勢、経費の検討を行う。

### (2) 銃剣道・短剣道に関する指導者及び審判の育成

- ・目的：銃剣道・短剣道の現在及び将来の命運を担う基幹となる人材を育成する。
- ・目標：研修会及び審査会の開催により、技倆と指導能力の向上と人格を陶冶する。
- ・課題：銃剣道・短剣道及び審判の理念及び技術に関する思想の統一（特にブロック指導員）
- ・ブロック指導員の、青少年指導講習会、A級審判員研修会参加の義務化を試行する。
- ・8段受審促進のため、A級審判員審査会時に8段審査会開催するとともに、地方開催を継続する。

### (3) 青少年の育成強化

- ・目的：青少年の人格形成という社会貢献への寄与、会員の裾野拡大及び将来要員の育成
- ・目標：青少年育成拠点の増加、青少年指導者の育成、大会参加奨励
- ・青少年育成拠点の増加：青少年育成拠点の全国設置（各都道府県連盟1以上）を目標とする。
  - 学校部活・同好会、道場、クラブ、教室、スポーツ少年団等
  - 自衛隊等公共体育館の活用による育成拠点の設置
- ・青少年指導者の育成：学校教員指導者、地域指導者の青少年指導力特に中学校授業指導能力向上
- ・大会参加奨励：国体少年の部ブロック大会への全県参加、少年少女錬成大会、高校生大会
- ・銃剣道・短剣道の青少年へのPR：地方におけるイベントの活用（体験教室等の開催）

### (4) 中学校における銃剣道授業の推進

- ・意義・目的：中学校における銃剣道授業化は、銃剣道が現代武道として存立する証である。
- ・目標：授業の「継続」、「拡大」
- ・課題：指導者の育成、中学校等への説明活動、授業実施基盤の整備
- ・指導者の育成：全国銃剣道指導者研修会への中学校教員、地域指導者の参加奨励
  - 中学校教員の参加奨励：保健体育科教員の銃剣道指導能力育成、他教科教員の指導能力育成
  - 地域指導者（ブロック指導員等）の中学校授業指導能力の付与・向上
- ・中学校等への説明活動：県連等により銃剣道のメリット（安全性、経済性、希少価値等）強調
- ・授業実施基盤の整備：制度の改善、財政的支援
  - 制度改善努力：文科省に対し、中学校学習指導要領本文への銃剣道明記、複数科目採用を要請
  - 財政的支援：授業化実現校への木銃支援を継続する。

### (5) 東京オリンピック開催にともなう日本武道館休館への対応

- ・日本武道館全館休館期間：平成31年9月1日～平成32年9月30日
- ・目的：休館期間における大会を開催し、競技力の維持向上を図る。
- ・要領：平成29年度定時社員総会にて大会の開催意志を決議、平成30年度定時社員総会にて、大会の開催場所・時期・規模等を決議する。

### (6) 平成30年度全日本銃剣道選手権大会におけるドーピング検査準備

- ・目的：啓発教育により意識を高揚して違反を防止するとともに、円滑な検査の実施を図る。
- ・啓発教育：優勝大会、青少年指導者研修会、選手権大会等
- ・模擬検査場：選手権大会

### (7) 全銃剣連財政健全化確保施策の推進

- ・目的：全銃剣連の財政に関する現状の共有と早期対応により、財政の健全化を維持する。
- ・現状の共有：全銃剣連の財政状況に関する継続的把握と会員への啓発による現状の共有
- ・対応施策：更なる経費節減策、会員増加策の推進、収入増加策の検討

## II. 事業内容

### 1. 全日本銃剣道選手権大会及びその他の競技大会の開催

#### (1) 高松宮記念杯争奪第25回全日本銃剣道選手権大会

- ・開催日：平成29年8月4日（金）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手：64名を予定
- ・県等で選手を派遣できない場合は、その出場枠を当該ブロックからブロック選出選手として出場させることができる。

#### (2) 第61回全日本銃剣道優勝大会

- ・開催日：平成29年4月23日（日）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：1,200名を予定

#### (3) 第48回全日本青年銃剣道大会

- ・開催年月日：平成29年8月3日（木）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：1,500名を予定
- ・出場選手の年齢制限変更

#### (4) 第29回全国高校生銃剣道大会

- ・開催日：平成29年7月29日（土）
- ・開催場所：宮城県岩沼市総合体育館
- ・参加選手・監督：300名を予定

#### (5) 第17回全日本短剣道大会

- ・開催日：平成30年2月18日（日）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：400名を予定

(6) 平成 29 年度全日本少年少女武道（銃剣道）錬成大会

- ・開催日：平成 29 年 8 月 2 日（水）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：350 名を予定

(7) 第 72 回国民体育大会銃剣道競技会

- ・開催期間：平成 29 年 10 月 7 日（土）～9 日（月）
- ・開催場所：愛媛県東温市 ツインドーム重信
- ・参加選手・監督：193 名
- ・役員数：80 名
- ・少年男子の部ブロック予選会に欠場した県連盟からは国体審判員は出さない。

(8) 競技大会参加者等の要件

- ・全銃剣連が計画する競技大会に出場する選手・監督・コーチは、平成 28 年度の全銃剣連会員であり当該年度の会費を完納した者に限る。ただし、少年少女錬成大会・高校生大会は除く。
- ・国民体育大会の競技種目別に参加するチームの監督・コーチは、日本体育協会公認スポーツ（銃剣道）指導員以上の有資格者とする。
- ・全銃剣連が主催する競技大会の試合場主任は、名誉審判員とする。

2. 銃剣道及び短剣道に関する調査、研究及び教則の制定と競技規則・審判規則の統一。講習会・研修会の開催と指導員・審査員の派遣

(1) 銃剣道・短剣道青少年指導者講習会

- ・目的：日本武道館との共催により講習会を開催し、青少年指導者及び高段保有者等の銃剣道・短剣道に関する識見、指導能力及び技倆の向上を図る。
- ・開催時期：平成 29 年 5 月 12 日（金）～14 日（日）
- ・開催場所：日本武道館研修センター

(2) A 級審判員研修会

- ・目的：A 級審判員資格保有者及び同受審資格者に対し研修会を開催し、審判理論の精通及び審判技術の向上を図るとともに、A 級審判員としての権威と資質を養成する。
- ・開催時期：平成 30 年 1 月 26 日（金）～27 日（土）
- ・開催場所：日本武道館研修センター

### (3) ブロック研修会

- ・目的：全国の銃剣道・短剣道及び審判法に関する知識・技能の均衡的發展を図るため、ブロックごとの研修会を実施する。
- ・日程・内容等：各ブロックの計画による。高段者（6・7段対象）の段位審査は研修会最終日又は研修会翌日に行う。

### (4) 第4回全国銃剣道指導者研修会

- ・目的：日本武道館との共催により研修会を開催し、学校教員への銃剣道指導能力の普及を図るとともに、外部指導者候補者（女子含む）、ブロック指導員の技倆及び指導能力の向上等、銃剣道・短剣道に関する指導者の能力向上と幅広い分野への指導者拡大を図る。
- ・参加対象：学校教員、各地域外部指導者候補者（女子指導者含む）、ブロック指導員等
- ・開催時期：平成29年11月10日（金）～12日（日）
- ・開催場所：日本武道館研修センター

### (5) 国内強化合宿

- ・目的：JOC（日本オリンピック委員会）委託事業として開催し、高校生・中学生等の銃剣道・短剣道に関する技倆を向上させ、心身とも健全な人材育成を図る。
- ・開催時期・場所：各ブロック等の計画による。

### (6) (公財) 日本体育協会公認銃剣道指導者養成講習会

- ・目的：日本体育協会公認の上級スポーツ指導員（銃剣道）受験資格者及び公認スポーツ指導員（銃剣道）受験資格者に対し銃剣道に関する講習会を実施し、資格の取得更新に寄与する。
- ・公認上級スポーツ指導員銃剣道専門科目講習会（30時間）
  - 希望調査により開催を決定する。開催時期・場所は別途通知する。
- ・公認スポーツ指導員銃剣道専門科目講習会（40時間）
  - 第1回：平成29年10月27日（金）～30日（月）、鳥取県立武道館
  - 第2回：平成29年12月、青森県八戸市

### (7) 指導員派遣事業

- ・全銃剣連が主催する研修会・講習会に対しては、ブロック指導員を派遣する。
- ・日本武道館及び全国都道府県立武道館協議会加盟武道館と共催で行う地方青少年武道（銃剣道）錬成大会に対しては、全銃剣連が指定したブロック指導員2名を派遣する。
- ・ブロック及び県連盟等が研修会を計画し指導員等の派遣を必要とする場合及び県教育委員会等から強化指定校の指導員の派遣を要請された場合は、指定講師を派遣するよう努力する。

### (8) 国際交流事業

- ・国際委員会（仮称）の設立
- ・日本武道協議会が計画する日本武道代表団への会員派遣、国際武道セミナーへの参加等の他、海外に対する銃剣道・短剣道紹介活動を積極的に推進する。

### (9) 銃剣道・短剣道に関する調査、研究

- ・競技力向上委員会により、銃剣道・短剣道に関する基本問題の研究、競技力を高めるための応用技の研究、女性に対する教育指導・健康指導・護身的要素の指導、年齢別・性別ごとの身体トレーニング法の実践等について調査、研究を継続して行う。
- ・中学校武道必修化に対応した指導教本の作成、教員・外部指導員の養成、参考資料、DVD、用具、教材等の研究を継続的に行う。
- ・ドーピング防止委員会、医学・安全委員会により、ドーピング防止活動及び医学・安全活動に関する資料収集を行い、ガイドライン・マニュアル等の作成や啓発教育等に関する調査研究を行う。
- ・競技力向上委員会を主体に、銃剣道・短剣道教則改正に関する調査・研究を行う。
- ・創立60周年記念事業実施要項に基づき、基本問題に関する検討等の事業を実施する。

## 3. 銃剣道及び短剣道の技倆に関する資格認定及び称号段位の付与

### (1) 段位審査会

#### ア. 8段審査会

- ・主催及び構成：全銃剣連が主催し、会長が指名する審査員11名で構成する。
- ・中央開催：平成30年1月28日（日）午後、日本武道館研修センター
- ・地方開催：受審者10名以上の場合、希望ブロックが定める日時・場所で開催する。

#### イ. 6段7段審査会

- ・主催及び構成：全銃剣連が主催し、全銃剣連選定の審査員7名で構成する。
- ・開催時期・場所：各ブロック研修会翌日または最終日、研修会開催場所で開催する。

#### ウ. 5段以下審査会

- ・各都道府県連盟に委託する。

### (2) 称号審査会

#### ア. 範士称号審査会

- ・審査会の構成：称号・段位審査規則第4条（審査会の種類と構成）第2項により構成する。
- ・開催時期：平成29年12月16日（土）、平成29年度第2回通常理事会開始前
- ・開催場所：パールホテル両国

#### イ. 教士・錬士称号審査会

- 称号・段位審査規則第4条（審査会の種類と構成）第3項により構成し、実施する。

### (3) 指定審判員審査会

#### ア. A級審判員審査会

- ・主催及び構成：全銃剣連が主催し、会長が指名する審査員11名以上で構成する。
- ・開催時期：平成30年1月28日（日）午前
- ・開催場所：日本武道館研修センター

#### イ. B級審判員審査会

- ・主催及び構成：全銃剣連が主催し、全銃剣連選定の審査員7名で構成する。
- ・開催時期：各ブロック審判研修会時に1日の日程で年間9回開催する。

#### ウ. C級審判員審査会

- ・各都道府県連盟に委託する。

#### エ. 名誉審判員認定審査

- ・指定審判員規則第14条に則り、全銃剣連が実施する。

### (4) 段位特別審議会

- ・9段・10段審議会は、称号段位審査規則第9条に則り、全銃剣連が実施する。

## 4. 機関誌の発行・銃剣道等に関する図書の出版

### (1) 機関誌「剣の心」第64号の発行

- ・目的：銃剣道・短剣道に関する情報交換・紹介等により、会員の相互親睦及び修行の資とするとともに、銃剣道・短剣道普及振興を図る。
- ・発行時期：平成30年3月

### (2) 銃・短剣道に関する図書の出版

- ・銃剣道教則の販売
- ・銃剣道試合・審判規則及び細則の販売
- ・短剣道教則の販売
- ・短剣道試合・審判規則及び細則の販売
- ・ジュニア指導者の手引きの販売
- ・銃剣道DVDの販売



## 5. 功労者の表彰

### (1) 全銃剣連の行う表彰

「表彰及び感謝状の授与に関する規則」及び「表彰等規則の施行に関する細則」に則り、功労のあった団体・個人に対して審査のうえ以下の表彰、褒章又は感謝状を授与する。

- ・優良都道府県連盟表彰
- ・特別功労章
- ・功労章
- ・優良団体表彰
- ・感謝状

### (2) 全銃剣連以外の団体等が行う表彰への推薦

- ・日本武道協議会が行う武道功労者・武道優良団体表彰及び武道少年優良団体の表彰について、候補者を審査のうえそれぞれ表彰候補者を推薦する。
- ・公共団体及び報道機関等からの表彰の推薦依頼があった場合は、全銃剣連で審議したうえで表彰候補者を推薦することがある。

## Ⅲ. その他

### 1. 会議等

会 議 名	開 催 日	会 場
平成 29 年度第 1 回通常理事会	平成 29 年 5 月 15 日(月) 午前	パールホテル両国
平成 29 年度定時社員総会	平成 29 年 5 月 31 日(水) 午後	ベルサール九段
平成 29 年度第 2 回通常理事会	平成 29 年 12 月 16 日(土) 午後	パールホテル両国
平成 29 年度都道府県連盟事務局長会同	平成 30 年 1 月 13 日(土)	パールホテル茅場町
平成 29 年度第 3 回通常理事会	平成 30 年 3 月 23 日(金) 午後	パールホテル両国

### 2. 委員会

#### (1) 競技力向上委員会

- ・5月及び適宜の時期に開催する。

#### (2) ドーピング防止委員会

- ・11月及び適宜の時期に開催する。

**(3) 医学・安全委員会**

- ・11月及び適宜の時期に開催する。

**(4) 倫理委員会**

- ・6月及び必要な時期に開催する。

**(5) その他**

- ・基本問題の検討に関連し、国際委員会（仮称）、女性委員会（仮称）、会員増勢委員会（仮称）、青少年育成委員会（仮称）を発足する。
- ・平成29年5月15日（月）午後、パールホテル両国にて、役員に対するコンプライアンス教育を実施する。

**3. 規則等の改正**

- ・適宜改正する。

**4. 報告等**

- ・各県連等の年度別事業報告書・収支決算報告書を平成29年6月末日までに全銃剣連に提出するものとする。

# 平成29年度 主要行事予定表

H29.4.1現在

月	日	主 要 行 事 名	場 所
4月	23(日)	第61回全日本銃剣道優勝大会	日本武道館
5月	12(金)～14(日)	銃剣道・短剣道青少年指導者講習会 ＜(公財)日本武道館共催＞	日本武道館研修センター
	14(日)	平成29年度第1回競技力向上委員会	日本武道館研修センター
	15(月)	平成29年度第1回通常理事会	パールホテル両国
	16(火)～19(金)	中・四国地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	愛媛県・東温市ツインドーム重信
	27(土)～30(火)	北海道地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	恵庭島松体育館
	31(水)	平成29年度定時社員総会	ベルサール九段
6月	10(土)～11(日)	関東地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	神奈川県立武道館
	15(木)～18(日)	東北地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	宮城県・多賀城駐屯地体育館
	23(金)～25(日)	北信越地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	福井県立武道館
	24(土)～25(日)	東北地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	宮城県第二総合運動場
	30(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・錬士)	全日本銃剣道連盟事務局
7月	15(土)～17(月)	北信越地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	富山県・富山駐屯地体育館
	15(土)～17(月)	中国地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	鳥取県立武道館
	15(土)～17(月)	九州地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	熊本武道館
	29(土)	第29回全国高校生銃剣道大会 <岩沼市共催>	宮城県・岩沼市総合体育館
8月	2(水)	平成29年度全日本少年少女武道(銃剣道)錬成大会 ＜(公財)日本武道館共催＞	日本武道館
	3(木)	第48回全日本青年銃剣道大会	日本武道館
	4(金)	高松宮記念杯争奪 第25回全日本銃剣道選手権大会	日本武道館
9月	29(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・錬士)	全日本銃剣道連盟事務局
10月	7(土)～9(月)	第72回国民体育大会銃剣道競技会	愛媛県・東温市ツインドーム重信
	14(土)～15(日)	北海道地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	美瑛町・国立大雪交流の家
	20(金)～22(日)	関東地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	群馬県・玉村町社会体育館
	20(金)～22(日)	近畿地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	京都府・福知山駐屯地体育館
	21(土)～24(火)	九州地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	宮崎県・都城運動公園体育館
	27(金)～30(月)	平成29年度第1回日体協公認銃剣道指導員養成講習会	鳥取県立武道館
	未定	北海道地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	札幌市
未定	ドーピング防止委員会 医学・安全委員会	全日本銃剣道連盟事務局	

月	日	主 要 行 事 名	場 所
11月	10(金)~12(日)	第4回全国銃剣道指導者研修会<(公財)日本武道館共催>	日本武道館研修センター
	11(土)~12(日)	近畿地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	兵庫県立武道館
	12(日)	平成29年度第2回競技力向上委員会	日本武道館研修センター
12月	1(金)~3(日)	東海地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	三重県・久居駐屯地体育館
	8(金)~10(日)	平成29年度中学校武道授業(銃剣道)研究事業 <(公財)日本武道館共催>	日本武道館研修センター
	16(土)	平成29年度第2回通常理事会 範士称号審査会	パールホテル両国
	22(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・錬士)	全日本銃剣道連盟事務局
	23(土)~24(日)	四国地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	愛媛県武道館
	未定	平成29年度第2回日体協公認銃剣道指導員養成講習会	青森県・八戸市
1月	13(土)	平成29年度都道府県連盟事務局長会同	パールホテル茅場町
	26(金)~27(土)	A級審判員研修会	日本武道館研修センター
	28(日)	A級審判員審査会 銃剣道・短剣道8段審査会	日本武道館研修センター
	30(火)~31(水)	鳥取県地域社会武道(銃剣道)指導者研修会	鳥取県立武道館
2月	18(日)	第17回全日本短剣道大会	日本武道館
	23(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・錬士)	全日本銃剣道連盟事務局
3月	23(金)	平成29年度第3回通常理事会	パールホテル両国